

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おひさま 見沼事業所		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 3日	～	2025年 3月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 19名	(回答者数)	8名
○従業者評価実施期間	2025年 3月 10日	～	2025年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 3名	(回答者数)	3名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 28日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムの立案をチームで行っている " を固定化しないように工夫をしている	全従業員が意見を出し合い行えるよう、事業所別会議内で話し合いの場を設けている。 固定化しすぎないよう、児童に合わせ適した内容を検討し行っている。	アセスメントやニーズ等を共有し合い、分析を行いながら共通理解できる工夫をしている。
2	マニュアルを策定し、職員や家族等に周知するとともに、訓練を実施している	常に様々な発生を想定できるよう、リスクマネジメントの研究と共に全体会議・事業所別会議内で訓練を実施していく。発生頻度の予測や危険度などの予測する力を従業員が持てる様に行っている。	研修・訓練時にマニュアルの内容を確認し見直しをする為の話し合いの場を設けている。



<p>NO.1193 P.2</p>	<p>保護者同士で交流する機会を設ける まようだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている</p>	<p>事業所合同での遠足・夏祭り・セミナーを開催し、他事業所の保護者とも交流し情報を得られる場を提供している。 まようだいも自由に参加をし交流を広げている。 グリーンフェスティバルを開催する事で他事業所や就労なども含めた幅広い情報の場を設定し、地域とも交流できるよう取り組んでいる。</p>	<p>セミナーなどで様々な幅広い情報を提供出来る様、要望を広くあつめていき、繋がりを広げていく必要がある。</p>
------------------------	---	---	---

	<p>事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること</p>	<p>事業所として考えている課題の要因等</p>	<p>改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等</p>
1	<p>放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会。</p>	<p>近くに見童館はなく、実際にあまり活用が出来ていない。図書館の利用など地域の活用を計画するが、周りのトラブルになりやすいのが現状としてある。前もって伺い説明し許可を得るなどする必要があり、気軽に交流の機会を設けられない。</p>	<p>事業をより知ってもらい地域の中に広げていく必要がある。グリーンフェスティバル等も含め、インクルーシブな環境・情報の場を広げていける活動を検討し取り組んでいく。</p>
2	<p>必要に応じて個別の部屋や場所を使用する事が認められるか。</p>	<p>カウンター部分にガードをつけ区切る事でクールダウンの場所を確保しているが、物を置く棚などもあること・声などは聞こえてしまう等の課題が残っている。 個別に取り組むスペースの確保は難しい為、パーテーション等の活用が必要となってくる。</p>	<p>区切りの少ない環境の中、クールダウンのスペースをどのように充実させ安心して落ち着く環境にしていけるかと、検討を重ねていく必要がある。</p>
3	<p>第三者による外部評価を行っているか。</p>	<p>外部からの評価は受けていないが、別事業所従業員からの評価・意見を聞く場を全体会議などで取り入れ、業務改善に繋げている。</p>	<p>引き続き外部評価について検討をしていく。 第三者から助言を頂けるような繋がりを模索していく。</p>

(別紙4)

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				利用児童数		回収数	
おひさま 見沼事務所		2025年 3月 31日				19名		8名	
	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない				
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	50%	50%				基準のスペースとなっております。活動に合わせた配置を工夫、スペースの確保が出来る様工夫し行っています。		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	75%	25%				定められている人員数を確保しています。		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や視覚伝達手段への配慮が適切になされていると思いますか。	63%	25%		12%		荷物の置き場所・知育玩具の場所・トイレなど写真やイラスト・マークを使いわかりやすい構造化を図っている。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	76%	12%		12%	昼間も可変く子供に合わせたなっていると思う。	季節に合わせた壁面や飾りつけを窓越し、明るい雰囲気を用意しています。		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に合わせた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	88%	12%			それぞれ1人1人の事を理解しきめ細かな支援がされていると思う。連絡ノートに子どももたくさん書いてくれるのが嬉しいです。	特性等の理解・スキルアップが出来る様、社内研修やミーティングを随時行っています。		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%				子供にとって分かりやすい内容になっていると思います。	ご利用者の笑顔に合わせた支援内容・プログラムを引き続き検証していただきたいと思います。		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					課題・ニーズに合わせた情報共有を細やかに行えるよう、引き続き努めてまいります。		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%				子どもに合った支援プランを作成して下さり感謝しています。	わかりやすい支援内容をお伝え出来る様、引き続き努めてまいります。		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	88%			12%			計画の見直しを随時行っています。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	63%	12%		25%	毎月、毎週楽しめるようなプログラムの計画がされていると思います。	様々な活動が行えるよう、課外時間を設定し活動しています。		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	25%	12%	25%	38%	未就学児～高校生まで居るので色々な年齢の子と交流が出来ていい環境だと思います。	地域活動でグリーンフェスティバルを行っている。児童館などはトラブルが発生しやすく受け入れてもらい難いのが現状として課題。		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	76%	12%		12%	丁寧な説明がありました。	契約時に必ず説明させて頂いています。		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	88%			12%		随時、説明をさせて頂いています。		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族も参加出来る研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	51%	25%	12%	12%		退勤事業所と合わせ連絡セミナー等を開催している。		
保護者 への 説明	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態についてお互い理解ができていると思いますか。	89%	12%			お母さま事業所に寄った時に席の子や相談を話す機会がありました。ごんは見てくれてるんだと感謝です。	送迎時、連絡ノートを活用し細やかな状況をお伝え出来るよう努めています。		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	63%	37%				モニタリング時にご家庭・学校等の様子もお聞きしています。随時希望があれば面談を実施している。		
	17 事業所の職員から積極的に支援をされていると思いますか。	75%			25%	連絡ノートや送迎時に様子をお話しして下さりとても助かります。	引き続き特性に沿った支援と保護者様との細やかなコミュニケーションを心がけてまいります。		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の関係等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	25%	12%	25%	38%	皆様の多い方が多いと思うので保護者会等はなくてもいいと思っています。	以前は開催をしてましたが、共働きのご家庭が多く来られないのが現状でした。姉弟同士に関しては夏祭り・グリーンフェスティバルで交流の機会を設けてます。		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	50%	12%		38%	分からない事があるとすぐに電話して説明してくれます。受け入れ日の時間・日頃の相談もしやすいです。	相談や申し入れ等に対し随時対応するよう心掛けてます。様々な事柄に迅速に対応出来る様、事業所向上で連携を図り情報共有を行っています。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	63%	25%	12%	イラスト・写真・音取り・手紙などでコミュニケーションを取ろうとされています。	月に一度おたよりとブログをアップを行い情報伝達を行っています。日々の様子などは追加ノートで保護者様を案内しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	88%		12%	HP頑張って更新してくれています。毎週HP頑張って更新してくれています。	月に1度はおたよりの発行・ブログの更新等を行いお知らせしています。自己評価の結果もお便りとHPに掲載しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	88%		12%	留意されていると思います。	個人情報に及ぶものは全てロックをかける。また、子どもの個人情報に及ぶものは選ばないよう配慮の取組場所を工夫しおこなっています。
非常時等の対応	23	保育園では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	50%	25%	25%	インフルエンザ・コロナなどに合わせて対応が実際に施行されていると感じています。	各種マニュアルを編纂作成・見直しを行った上で周知に努めます。緊急時のお子様のお便り・ブログを速くお知らせ致します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	63%		37%		年に2度（地震・火災）の訓練を実施しています。緊急時のお子様の様子母も連絡ノートでお知らせしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で実施が行われていると思いますか。	50%	12%	38%		リスクマネジメントの研修を行い改善・実施を行っています。周知に向け今後取り組みを進めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	75%		25%	デイでのケガなのか学校なのか、きちんと確認し対応してくれています。	怪我等を含め、引き継いだ際には念書を提出するようにしています。速やかに保護者様へご連絡しお伝えしています。
充足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%			お友達や先生方に優しく扱って貰い安心して通所できていると思います。	それぞれの特性を十分に理解し支援してあげるよう引き続き努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%			家でしない遊びも楽しんでもらえます。	活動や遊びを通して興味を広げていくよう心掛けていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	88%	12%		たくさんの要望も聞いてもらい、満足しています。相談をしやすい雰囲気です。	要望・相談をしやすいコミュニケーションを心がけていきます。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
おひさま 見沼事業所		2025年 3月 31日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%			活動に合わせ配座等を変更、十分なスペースを取れるようにしています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数等は適切であるか。	100%			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		危険箇所は手が届かないようガードを使う等し、生活空間を区切るようにしている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%			
業務 改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%			
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		月に1度事業所別会議を開き、パートを含め全員が参加を意見を聞く場を設けている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100%		第三者による評価は現在行っていない。今後どのように外部の評価を受け入れていけばいいのかがわからない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を要請する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		事業所別会議・全体会議で特性や業務についての社内研修を行っている。	
適切な 支援の 提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		担当者会議などは全指導員に意見を聞き、計画を作成している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域連携・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		デイサービス計画は全指導員が目を通し、支援内容を確認している。具体的な支援内容の把握に努め、ねらいを確認しあい行っている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		全指導員が意見をだし合い、全体で進めている	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		特性に合わせ出来る事を検討し、様々な活動に取り組んでいる	

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		朝礼の時間を設け、流れと分担を毎日打ち合わせしている。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	100%		報告・相談は随時行い、翌日の朝礼時に振り返りを行っている。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		日報の記入を日々行い、振り返りと検証の参考にしている。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		半年に1度は面談をしモニタリングを実施し見直しを行っている。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100%		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。	100%		
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		随時即時に行っている。
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%		実際に情報共有を行う機会があまりないが、努めていく姿勢をもっている。
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%		移行する際に実際に提供を求められた事がない。求められた時には即時に対応を行う。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%		
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100%		
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%		協議会があまり実施されていないが、ある時には参加をしている。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		保護者とのコミュニケーションは送迎時と連絡ノートで細やかに行っている。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		契約時・切り替え時等に行っている。
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		随時に対応している。

40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	67%	33%	父母の会は以前に開催していたが、共働きの家庭が多く難しいのが現状。夏祭り・グリーンフェスティバル・セミナーの開催等で保護者同士・きょうだい同士の交流の場を設けてる。	
41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%			
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%		おたよりやHP内のブログで随時発信している。	
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%			
44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%			
45	事業所の行事に地域住民を招待する時、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%		グリーンフェスティバル等を通して地域へと参画している。	
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		事業所別会議や全体会議の時に研修や訓練を実施していく。	
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%			
48	事前に、服装や手防護履、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%		契約時に確認をしている	
49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか。	100%		契約時に確認をし対応している。	
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%			
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		朝礼・振り返り時に共有し、記録に残している	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		事業所別会議・全体会議等で研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		必要な時は説明をし了解を得る体制をとっている。	